

2019年5月14日

各 位

会 社 名 株式会社テノ・ホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長 池内 比呂子
(コード番号：7037 東証マザーズ
・福証Q-Board)
問 合 せ 先 取締役管理本部長 吉野 晴彦
(TEL. 092-263-3550)

特別利益（補助金収入）及び特別損失（固定資産圧縮損）の計上に関するお知らせ

当社グループは、2019年12月期第2四半期において、下記のとおり特別利益（補助金収入）及び特別損失（固定資産圧縮損）を計上いたしますので、お知らせいたします。

1. 特別利益及び特別損失の内容

(1) 当社の連結子会社、株式会社テノ・コーポレーションは2019年4月に下記の認可保育所の新規開設及び東京都認証保育所を小規模認可保育所へ形態変更し運営を開始いたしました。

・認可保育所	ほっぺるランド東新小岩	東京都葛飾区
・小規模認可保育所	ほっぺるランド滝野川	東京都北区

(2) 特別利益について

当社の連結子会社、株式会社テノ・コーポレーションが2019年4月に認可保育所の新規開設及び東京都認証保育所を小規模認可保育所へ形態変更し運営を開始いたしました。上記保育所に係る補助金の交付に伴い、「補助金収入」として見込額182,838千円を特別利益に計上する予定であります。

(3) 特別損失について

上記の補助金の交付に伴い、圧縮記帳する会計処理を適用し、固定資産圧縮損として見込額182,838千円を特別損失に計上する予定であります。

注) 新たに保育所等の施設を開設した場合、その開設費用の一部に対し、自治体から補助金の交付を受ける場合があります。当社グループでは、自治体から受け取る補助金の会計処理について、固定資産圧縮損を計上し、対象となる固定資産の帳簿価額を直接減額し、毎期の減価償却も減額後の額をもとに計上する

「直接減額方式」を会計方針として採用しております。その他、認められる他の会計方針としては、補助金を営業外収益に一括計上し、固定資産は補助金控除前の帳簿価額で計上する「剰余金処分方式」があります。「直接減額方式」を採用する場合と比較すると「剰余金処分方式」は、新たに保育所を開園した事業年度において、補助金が一時的な収益として計上される一方、売上原価に計上される減価償却費は「直接減額方式」に比べ大きくなります。

2. 業績に与える影響について

本件が2019年12月期の業績に与える影響につきましては、2019年2月12日に発表いたしました業績予想に織り込み済みであります。

なお、今後の進捗状況等により、業績に影響を与える事象が発生した場合には、速やかに開示いたします。

以 上